

平成30年度 新規採択要望箇所の概要

1. 事業概要

事業名	県営農地整備事業
事業箇所	今泉地区(高岡市今泉地内)
事業量	受益面積 47.7ha
事業内容	区画整理47.7ha
総事業費	10億円
予定工期	平成30年度～平成38年度

2. 事業の必要性

- ・昭和30年代に団体営ほ場整備事業により20a区画に整備されたが、農道が狭く、基盤整備施設の劣化が著しいことから、畦畔除去による区画拡大、用排水施設等の更新、暗渠排水による汎用化を行い、農地集積の促進、営農効率の向上を図る。
- ・排水路の管路化を行い、法面の草刈り等の維持管理の省力化を図る。
- ・用水路には自動給水栓を設置し、ICT化を図り、水管理の省力化で生み出された余剰労働力を活用し、1億円産地づくりによる軟弱野菜、ニンジンをはじめ、大かぶ、ミニトマト、梨、とうもろこし等を栽培する。これら品目をJA高岡へ出荷し経営の安定化を図る。
- ・地区内には、農業生産法人である森田農園が経営する農家レストラン、直売所があり、更なる農業経営の多角化と農業所得の増大を図る。

3. 事業の適切性(事業規模、区間など)

- ・高岡市今泉集落が事業実施を契機として、農地集積に向けた検討や整備内容のとりまとめなど、話し合いによる合意形成を地区一体となって進めてきている。
- ・農地の大区画化等の整備と経営体の育成・支援を一体的に実施し、農地集積の加速化や農業経営の安定化に資する。
- ・本地区の区画については、野菜の栽培に適した50a(50m×100m)区画とする。

4. 事業の投資効果

- ・費用便益比(B/C) 1.20
※作物生産、営農経費節減による便益
<その他の費用便益として表せない効果>
- ・農業生産法人設立による農業経営の安定化
- ・耕作放棄の発生防止

5. 推進体制

- ・高岡市、高岡市土地改良区から要望あり。
- ・今泉地区 農地整備事業推進協議会(H28.8.28設立)、高岡市土地改良区、高岡市、JA高岡、県農林振興センターが連携し、事業推進と営農支援を図る。

県営農地整備事業 計画平面図



農地集積状況図(現況)



ICT化
(用水路の自動給水栓)

農地集積状況図(計画)



	現況	計画
経営体育成	法人5	法人5
農地集積率	81.5%	92.0%
標準区画	20a (80m×25.0m)	50a (50m×100m)